

平成 31 年 1 月 11 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学病院

医事課長 児玉 英希

電話 : 052-858-7120

(名古屋市政記者クラブと同時発表)

**名古屋市立大学病院「無痛分娩センター」において
最初の「無痛分娩」による出産が行われました**

名古屋市立大学病院（愛知県より総合周産期母子医療センターに指定）では、産科麻酔を専門とする麻酔科医を外部より招聘し、安心安全な「無痛分娩」の提供のため、「無痛分娩センター」を平成 30 年 12 月にオープンしました。

無痛分娩センターのオープン後、無痛分娩の実施にむけ、さまざまな準備をしてまいりましたがこのたび無痛分娩により、平成 31 年 1 月 7 日（月）午後 8 時 53 分に、3,532g の男の子を無事出産されましたのでお知らせいたします。

※無痛分娩とは

背骨の脊髄に近い硬膜外腔（こうまくがいくう）に麻酔を注入する硬膜外麻酔により、陣痛の痛みを和らげるお産の方法です。

一般的には「無痛分娩」と呼称されることが多いですが、完全に痛みがなくなることではないことから、当院ではより医療技術に即した名称である「硬膜外分娩（こうまくがいぶんべん）」を用います。